

12月 もりおか町家物語館 イベント情報

1 火 から

平成 27 年度もりおか町家物語館 企画展
『鈴木彦次郎展』

【日 時】 平成 27 年 12 月 1 日 (火)
～平成 28 年 1 月 17 日 (日)
9:00 ～ 19:00 (最終入場 18:30)

【会 場】 もりおか町家物語館 文庫蔵 1 階
【入場料】 無料

詳しくは

4,5 金,土

盛岡スコール高等学校演劇部 第 10 回定期公演
『また夏が来て』

早期退職してしまった先生に会いに行く 24 歳になった教え子
たち。山の中で暮らす先生との再会の中で描かれる人間劇。
先生だって…生徒だって…

【日 時】 4 日 (金) 19:00
5 日 (土) 14:00 (開場は開演の 20 分前)

【会 場】 もりおか町家物語館 浜藤ホール
【入場料】 無料
【問合せ】 019-636-0827 (顧問・後藤)

6 日

佐藤俊ギター教室発表会

【時 間】 14:00～16:00
【会 場】 もりおか町家物語館 浜藤ホール
【入場料】 無料
【問合せ】 019-664-6550 (佐藤)

予告

「あの日から」出版記念朗読劇

水仙月の三日 作 / 澤口たまみ 演出 / 藤原正教

日 時 : 平成 28 年 1 月 31 日 (日) 14:00 開演
出 演 : 小野寺齊子、橋本佳織、永井志穂
入場料 : 【前売】 一般 1,000 円 (当日 1,200 円)
シニア・学生 800 円 (当日 1,000 円)
会 場 : もりおか町家物語館 浜藤ホール

月刊 12 月号 2015/12/1

マキヤ倶楽部

もりおか町家物語館 通信

平成 27 年度もりおか町家物語館 企画展

鈴木彦次郎展

岩手県立図書館館長や岩手県教育委員長、岩手県文化財愛護協会会長として郷土文化の向上に尽くした鈴木彦次郎は、一方で文芸誌『北の文学』やタウン誌『街もりおか』の発行に関わり、岩手の文芸の後進指導に務めました。また、相撲小説や時代小説など幅広い大衆文学で活躍し、郷土いわてを題材とした「常磐津林中(ときわづりんちゅう)」や「自由の征矢(そや)」などの長編も残しています。その鈴木彦次郎の作品や生涯を紹介いたします。



平成 27 年 12 月 1 日 (火)
～平成 28 年 1 月 17 日 (日)

9:00 ～ 19:00 (最終入場 18:30)
12/22、12/29 ～ 1/3 は休館

会 場 : もりおか町家物語館
文庫蔵 1 階 縁(ゆかり)の資料室

問合せ : もりおか町家物語館 019-654-2911
主催 : 盛岡市、特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

月刊 12 月号 2015/12/1

風の通信

いわてアートサポートセンター 通信



「あの日から」出版記念朗読劇公演
『風待ち岬』『海から来た子』
『お地蔵様 海へ行く』
作 / 柏葉幸子 演出 / 坂田裕一

12 月 12 日 (土) 14:00 (開場 13:30)

会 場 : 陸前高田市 竹駒地区公民館・集会室

12 月 13 日 (日) 14:00 (開場 13:30)

会 場 : 大船渡市 福祉の里センター・視聴覚室

出 演 : 中山恭誉、東海林千秋、星佳奈、伊勢二郎
演 奏 : 菊池大成 (ピアノ)

主催・問合せ : 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター
tel 019-604-9020

共 催 : いわて文化支援ネットワーク、いわて朗読クラブ

予告

「あの日から」出版記念朗読劇

長靴をはいた犬 作 / 久美沙織 演出 / 佐藤桐華

日 時 : 平成 28 年 1 月 23 日 (土) ～ 24 日 (日)

出 演 : 佐々悠 ほか

入場料 : 【前売】 一般 1,000 円 (当日 1,200 円)
シニア・学生 800 円 (当日 1,000 円)

会 場 : いわてアートサポートセンター 風のスタジオ



12 月のイベント情報

劇団ゼミナル第 31 回公演

『Quatre-Quarts』

【日 時】 5 日 (土) 14:30 / 19:45
6 日 (日) 14:30 / 19:45

※開場は開演の 30 分前

【入場料】 一般・前売 1,200 円 当日 1,500 円
高校生以下・前売 800 円 当日 1,000 円

【問合せ】 090-2029-7560 (劇団ゼミナル)

盛岡北高等学校演劇部 独立公演

『ある白雪姫の話』

【日 時】 12 日 (土) 14:00 (開場 13:30)

【入場料】 無料

【問合せ】 019-687-2312 (顧問・細川)

岩手大学劇団かっぱ 2015 年冬期公演

『家族』

【日 時】 19 日 (土) 14:00 / 18:00

20 日 (日) 10:30 / 15:30

※開場は開演の 30 分前 (10:30 の回のみ 20 分前)

【入場料】 前売 800 円 当日 1,000 円
高校生以下 500 円

【問合せ】 080-2818-5792 (三上)

黒猫舎第 5 回公演

『イーハトーブからやってきた三つのお話』

【日 時】 26 日 (土) 14:00 / 17:00

※開場は開演の 30 分前

【入場料】 大人・前売 1,000 円 当日 1,200 円
子供・前売 500 円 当日 700 円

【問合せ】 090-2978-0791 (菅原)

発行者 特定非営利活動法人
いわてアートサポートセンター

【事務局 / 風のスタジオ・風のアトリエ】

〒020-0878 盛岡市肴町 4-20 永卯ビル 3 階
TEL (019)604-9020 FAX (019)604-9021
E-mail kaze@iwate-arts.jp
URL http://iwate-arts.jp

【もりおか町家物語館】

〒020-0827 盛岡市鉦屋町 10 番 8 号
TEL (019)654-2911 FAX (019)654-2913
E-mail machiya@iwate-arts.jp
URL http://machiya.iwate-arts.jp

理事長コラム No.8
「鈴木彦次郎さん」

もりおか町家物語館の第2回森荘已池劇場が先月無事終了した。物語る演劇の手法で語られる森さんの文学世界の透明感を改めて感じた。森さんといえば宮澤賢治との交友が有名だが、賢治や森さんと同様、岩手の文学界を代表する作家に鈴木彦次郎さんがいる。彦次郎さんは盛岡中学で賢治の2年後輩である。私は鈴木彦次郎さんとお会いしたことはないが、家の書棚に彦次郎さんの本があり、名前だけは見知っていた。本は「常磐津林中」と「鈴木彦次郎随筆集」そして「巷説城下町」である。父が購入したものだ。

昭和63年10月、盛岡市制百周年記念の市民の舞台「明治22年4月1日」で私は演出を担当し、初めて彦次郎さんの本を読むことになる。「巷説城下町」や「自由の征矢(そや)」が芝居の底本になっていたからである。市制がはじまり、鉄道が通り、近代化が始まったころの明治の盛岡、そして盛岡芸妓と新聞記者の恋や庶民の暮らしも粋な文体で生き活きと描かれていた。

その後、平成2年に新しい盛岡劇場に配属になり、今度は盛岡芸妓衆の活動を通じて、「常磐津林中」を読むことになる。この間の数年間、彦次郎さんの文学世界はとても身近なものになった。

それから20数年、当法人が、もりおか町家物語館の指定管理者となり、再び、彦次郎さんが身近な存在になった。文庫蔵に地域ゆかりの先人10名のミニ展示があり、森さんと彦次郎さんが代表する文学者として展示されている。また「巷説城下町」でも描かれている盛岡の粋人「橋不染」も展示されている。

文庫蔵特設会場で、鈴木彦次郎展が今月から始まった。彦次郎さんの略年譜や出版本も展示される。12月は盛岡文士劇の月でもあるが、昭和24年12月に盛岡文士劇を始めたのが彦次郎さんである。

2月には当法人主催の「語り継ぐ盛岡物語」の朗読劇第2回公演「開運橋物語」が上演されるのだが、そのもとになっているのも「巷説城下町」である。

鈴木彦次郎さんは昭和50年7月に77歳で亡くなっている。今年は、没後40年にあたる。

特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター
理事長 坂田 裕一

事業報告①

2015.11.14(sat)

落語&漫才・和音の演奏と 昭和の懐かしい遊び



11月14日は『落語&漫才・和音の演奏と昭和の懐かしい遊び』を開催いたしました。

母屋2階では岩大落研による落語&漫才とゆりの会による優雅な和音の演奏を、大正蔵2階ではコマ回し、新聞紙での折り紙、べった(メンコ)、将棋などで鉦屋町地域のシニアの方と子どもたちが一緒に世代間交流しました。当日はあいにくの雨模様でしたがたくさんのお客様に来て頂きました。

アンケートでは「若さあふれる高座でとても良かったです」「和音の演奏は好きで演奏会があると聞けば出かけます。今日も素敵な演奏ありがとうございました」「紙相撲や・こま・おはじきなど中々触れることのない遊びが出来て子どもたちも喜んでいました」と嬉しいお言葉を頂きました。ありがとうございました♪

第2回森荘已池劇場 『花どろぼう』『雪明り』 終幕しました!

11月21日(土)22日(日)、浜藤ホールにて今年も森荘已池劇場が開催されました。

この企画は、鉦屋町が生んだ直木賞作家・森荘已池の作品を舞台化し、森氏の文学的偉業を顕彰する目的で始まりました。今年、森少年と宮沢賢治との交流を描いた短編『花どろぼう』と、直木賞受賞後第一作目の作品である『雪明り』の二編を劇団赤い風が「物語る演劇」の手法で上演し、2日間3公演で約200人のお客様にご来場いただきました。幕間には盛岡幼稚園の創設者、ミセス・タッピング氏(?)も降臨され、観客を和ませました。



次回はどんな作品に出会えるのでしょうか。皆さん来年の森荘已池劇場にご期待ください!



もりおか町家物語館 森荘已池劇場第2回公演

花どろぼう / 雪明り

2015.11.21(sat)-22(sun)

事業報告②

もりおか町家物語館 施設案内

【場 所】盛岡市鉦屋町 10-8
【開館時間】9:00 ~ 19:00(入館は18:30まで)
※浜藤ホールのみ利用時は21:30まで
【休 館 日】毎月第4火曜(休日の場合はその翌日)
※年末年始:12/29 ~ 1/3
【入 館 料】無料
※一部企画展は有料の場合があります。

町家のプレイガイドをご利用下さい!

母屋案内所に、プレイガイドを設置しております。

【販売を希望される皆様へ...】

販売手数料5%(消費税込み)で、イベントチケットをお預かりします。直接窓口にお越しください。

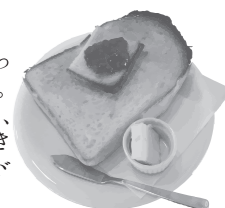


カフェ DOMA からのお知らせ

★新メニューのお知らせ★

トースト 450円

風味豊かなパンを、かりっと香ばしく焼き上げました。昼食としては勿論のこと、ちょっと小腹がすいたときにもピッタリ。お好きなドリンクとセットで50円引。



紅茶 350円

香り豊かな、ほっとできる味。トーストやケーキにもよく合います。

ケーキセット

お好きなケーキとお飲物をセットで、50円引きにてご提供いたします。

カフェ DOMA

営業時間 10:00 - 15:00 火・水曜 休
※カフェ営業時間外でも施設開館時間は展示見学可能です
※今月の休館日は22日(火)です
※年末年始は12/29(火)から1/3(日)まで休館となります

鉦屋町界限イベント情報

11月13日(日) 10:00 ~ 16:00
第11回 木夷展
「おもちゃ」

東北・岩手にある木工の専門学校で出会ったメンバーで、それぞれ一つのテーマについて考え、制作する形のグループ展を開催します。個々のこだわりをお楽しみ下さい。

石井尚樹 (mokka)、石井春美 (mokka)、
小澤純 (O工作室)、鎌田信八 (木工房 HACHI)、
小船明子、瀬古昌幸

【会 場】大慈清水御休み処 (盛岡市鉦屋町 3-15)

【問合せ】mokka 石井尚樹 090-7061-0591